

授業科目名：野 球	教員の免許状取得のため の必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：伊藤 栄治 高柿 健
			担当形態： オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 体育実技		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 野球(捕る、投げる、打つ、走る)の基礎技術をICTなどを用いて修得する。</p> <p>(2) 野球で主体的で対話的な深い学びを修得する。</p> <p>(3) 野球の動きを分解して、つまずきからの手立てを修得する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>「捕る、投げる、打つ、走る」ことを行う野球は、ベースボール型球技と言われ、中学校、高等学校の体育授業でも行われている。しかし、野球未経験者は、「捕る、投げる、打つ、走る」こと全てが得意だとは言えず、発育発達段階や運動経験、様々な特性によって「捕る、投げる、打つ、走る」ことの個人差も決して小さいとは言えない。そのため、野球の楽しさを十分に感じることは簡単ではない。</p> <p>本授業では、「捕る、投げる、打つ、走る」という行為の基本動作や応用技術を身に付けさせるとともに、何がうまくできないか、どうすればうまくいくかを、ICTやグループディスカッションを実施することによって、学生個人あるいはグループで「気づき、理解する」</p>			

ことを促す。合わせて、これらが主体的で対話的な深い学びにつながり、「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなライフスタイルを実現する」ことを理解させる。

授業計画

- 第1回：野球における「捕る、投げる、打つ、走る」とは
第2回：「捕る」基本技術（1）ゴロの捕球
第3回：「捕る」基本技術（2）フライの捕球
第4回：「捕る」基本技術（3）捕球フォーム改善点の確認
（ICTの活用、グループディスカッションの実施）
第5回：「投げる」基本技術（1）コントロール（軸の回転と重心移動）
第6回：「投げる」基本技術（2）投げるフォーム改善点の確認
（ICTの活用、グループディスカッションの実施）
第7回：「捕る」、「投げる」の応用技術（1）捕ってから投げる
第8回：「捕る」、「投げる」の応用技術（2）捕ってから投げるフォームの改善点の確認
（ICTの活用、グループディスカッションの実施）
第9回：「打つ」基本技術（1）構えからスイング（テイクバック、インパクト、フォロースルー）
第10回：「打つ」基本技術（2）高低、内・外角への対応
第11回：「打つ」基本技術（3）打つフォームの改善点の確認
（ICTの活用、グループディスカッションの実施）
第12回：「走る」基本技術（塁間の走り方）
第13回：野球のルール、ポジション、審判法、野球における授業の進め方
第14回：ゲームメイクの理解（グループディスカッションの実施）
第15回：まとめ
定期試験（実技試験）

教科書

なし スクーリング時に資料を配布

参考資料

- ・DVDでよくわかる野球（伊藤栄治監修、西東社、2007年）
 - ・野球上達BOOK ピッチング（伊藤栄治著、成美堂出版、2004年）
- その他、必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価

実技評価（80%）、スクーリング評価（20%）を総合して評価する。